

杉の子だより

NO.12
 令和3年3月15日発行
 ちくさ杉の子こども園
 園長 平瀬 晶子

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。令和2年度も残りわずかとなりました。修了式の練習も始まり、卒園児は心も体も健やかに、そしてたくましく成長した姿が頼もしく感じられます。

園生活では、笑ったり、泣いたり、様々な経験や体験をしました。毎日の振り返りの時間では、自分のしたことや感じたことを自分の言葉で表現します。集団生活のなかで『見る力』『聴く力』は必要です。この力をつけるには見たり聴いたりすることが楽しいという体験や、自分の話を聴いてもらえて嬉しかったという体験を積み重ねることが大切だと考えています。日々の教育・保育では、悩むことも多いのですが、子ども達と一緒に私達大人も成長していきたいと思えます。

今年度も、こども園へのご支援・ご協力ありがとうございました。保護者の方々や地域の皆様のご意見、評価委員の方々やこども未来課より賜わったご指導を次年度へとつなげて、よりよいこども園をめざして改善に努めていきたいと思えます。来年度もよろしくお願いたします。

もも組(2歳児) 衣装を身に着けると所定の位置で「ハイポーズ」



オレンジ組(4歳児) クラスの人数が一番多いのですが、いろいろな衣装に着替えて撮影しました。



メロン組(5歳児) うさちゃんクラブ修了式。証書の授与もばっちりです。



いちご・さくらんぼ組(0.1歳児) のりを使ってお雛様制作!マジックで顔も描きました。



りんご組(3歳児) 給食のメニューはちらし寿司でした。



メロン組(5歳児) はしごに上がる体験もさせていただきました。



メロン組(5歳児) 消防士に変身!!! カッコいい〜♡



メロン組(5歳児) 器具のことなど、たくさんの説明をしていただきました。

令和2年度こども園関係者評価について

年度末を迎え、今年度の重点目標を評価点検し、次年度に向けての改善策をまとめるこども園関係者評価を行いました。評価委員の方々よりいただいたご意見を一部紹介します。

①環境を生かした直接体験を通して好奇心や探究心をもち、豊かな感性を育てる。

☆達成状況:B(ほぼ達成した)

★改善の方策

・熊の出没やコロナの影響で、気候の良い時期に例年よりも遠くへ出掛けることはできなかったが、近くでも新たな発見や出会いができるよう、日頃から保育教諭自身が周辺の下見をしておく。

・高原で遊ぶことはできなかったが、園庭で季節や自然を感じる遊びは出来たので、今後も体験を重ねていく。

★関係者評価:◎(適切)

・四季を感じるということは良いこと。昔の人は、体験から様々なことを感じていたので、地域の人に話を聞く機会を作る。

・地域との接点を多く取り入れ、町中に子どもの笑い声、はしゃぐ声が届けられるようにしていく。

②自分らしさを発揮しながら、異年齢の友達や身近な人と親しみ、関わりを深め、様々な遊びの中で健康な体と思いやりの心を育む。

☆達成状況:A(達成した)

★改善の方策

・好きな遊びの時間には異年齢で関わることはあるが、クラス活動としての交流が少なかったため、行事だけでなく、日常の歌をうたったり、絵本をみたりすることを一緒にするなど、計画的な活動を取り入れていく。

★関係者評価:◎(適切)

・保護者(大人)の生活習慣になっているということはないか?意見交換など勉強会をするとよいと思う。

③栽培活動を通じた食育をする。

☆達成状況:A(達成した)

★改善の方策

・畑は近いが、もっと自分達で収穫できる機会が増えるように、クラスごとで野菜を作り、年齢なりの世話や観察ができるように検討する。

★関係者評価:◎(適切)

・芋、大根などの根菜類の収穫は、子ども達も喜び、育てやすい。土に触れることにより、自然を感じてくれるのでいいと思う。引き続き取り組んでほしい。

④千種町連携一貫教育の中で、小学校、中学校、高等学校や地域とのつながりを大切にする。

☆達成状況:A(達成した)

★改善の方策

・限られた交流授業しかできなかったが、プレゼントをもらったり、場所の提供をしていただいたりすることによって関わりをもつことができた。さらに新しい取組も考えていく。

★関係者評価:◎(適切)

・コロナ禍の中で、もう一歩進んで何ができるのか考えていかなければならない。

・園小中高が集まるのが難しいなら歌をつないでDVDにするなど、できることを考えていく。

・コロナ禍で人と触れ合うことを否定されていたが、今後は学校訪問などの機会を増やし、授業状況見学することにより大きくなることへの希望、期待へつなげてほしい。

【総合的な学校園関係者評価】

・『コロナ禍』の中で、園児だけでなく職員や保護者、さらに地域住民も活動を制限される1年となった。

・その中で、園として創意工夫し、子どもの成長につなげる取組を実践してこられたことに敬意を表します。

・特に乳幼児期に五感を使うことは大切であると考えます。自然体験を含め、あらゆる経験がその後の人生に大きく関わっていくものと考え、千種ならではの活動を生かす取組を進めていってください。

・感染予防をしながら、いろんな工夫をし、園での様子を目で見ることができなかったぶん、おたより、連絡帳、メールを楽しみにしていたので、来年度も引き続き継続してほしい。

以上、ご意見をいただいたことを参考に、来年度も全職員で精一杯取り組んでいきますので、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

